

平成23年度 指定管理者施設管理評価シート

部 福祉部 課 高齢福祉課

施設名称		〔14〕 東京都台東区立特別養護老人ホーム浅草				
指定管理者の名称		社会福祉法人台東区社会福祉事業団		指定期間	H22. 4. 1 ~ H27. 3. 31	
1. 指定管理者の概要						
(1) 業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実を図るため、児童館や高齢者施設の管理・運営を行う。					
(2) 類似施設の管理実績	特別養護老人ホーム谷中・特別養護老人ホーム三ノ輪					
(3) 経営状況	[社会福祉事業会計] (22年度決算ベース) 歳入 2,679,635,858円, 歳出 2,542,831,771円, 収支差額 13,680,487円					
2. 施設の概要						
(1) 所在地	台東区浅草4-26-2					
(2) 設置目的	居宅において介護を受けることが困難な高齢者に対し、介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行い、高齢者の福祉の向上を図る。					
(3) 利用者	常時介護が必要で、自宅で介護が困難な要介護者					
(4) 開館日・時間	通年、24時間					
(5) 規模	延べ床面積 4,588.35㎡ 鉄筋コンクリート造 地上5階地下1階 駐車場、倉庫、ボランティア室、居室、食堂、浴室（機械浴、一般）、教養室、医務室など					
(6) 人員体制	45名 内訳…施設長(1)、事務員(2)、相談員(1)、介護職員{常勤(28)、非常勤(6)}、看護職員(5)、理学療法士(1)、栄養士(1)					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1) 委託事業	入所者の健康管理、機能訓練、生活介助{食事、介護（排泄援助、入浴援助）、季節行事等}、地域ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業、併設事業として短期入所生活介護の運営、施設・付属設備及び物品の保全、施設内の清潔整頓、その他環境整備 等					
(2) 自主事業	自主事業は行っていない					
4. 予算決算の推移						
		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
予算	委託料（22年度から）	82,071,000	75,933,000	57,337,000	68,508,000	45,557,000
	料金収入等	324,148,000	332,381,000	329,161,000	344,171,000	358,030,000
	管理経費	406,219,000	408,314,000	386,498,000	412,679,000	403,587,000
決算	委託料（22年度から）	27,426,257	37,266,507	57,337,000	68,508,000	45,422,200
	料金収入等	376,302,852	371,288,491	358,355,837	382,473,632	410,185,014
	管理経費	360,735,029	369,372,113	377,637,804	401,995,569	406,411,428
	収支	42,994,080	39,182,885	38,055,033	48,986,063	49,195,786
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称		単位	19年度	20年度	21年度	22年度
入所定員（ショートステイ含む）		人	84	84	84	84
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値 (24年度)	20年度	21年度	22年度
利用率（特養+ショート）		%	98.0	93.5	97.2	95.7
利用者数（特養+ショート）		人	30,040	28,678	29,791	29,323

7. 平成22年度評価結果に対する現在までの取組み

関係機関との連携を図り、街づくり懇談会を定期的実施するなどして、サービスの向上、利用者数の増加に取り組んでいる。

8. 評価項目 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.2]	(a) 施設の目的達成	[2]	(f) 開館時間等の遵守	[2]
	(b) サービス水準	[3]	(g) 自主事業の成果	[-]
	(c) 職員配置	[3]	(h) 個人情報保護	[2]
	(d) 職員研修	[2]	(i) 緊急時対応マニュアル	[2]
	(e) 案内・接遇	[2]	(j) 警備・防犯体制	[2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検	[2]	(e) 危険箇所等の確認	[2]
	(b) 備品の管理	[2]	(f) 管理記録の作成・保存	[2]
	(c) 清掃・衛生管理	[2]	(g) 業務委託の事前承認	[2]
	(d) 施設の修繕	[2]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3) 利用者の満足度 平均 [2.2]	(a) 利用者・第三者機関の評価	[3]	(d) 利用しやすい環境整備	[2]
	(b) 苦情・要望への対応と報告	[2]	(e) 関係団体・地域との関わり	[2]
	(c) 利用者数の目標達成	[2]		
(4) 歳入歳出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行	[2]	(c) 収支計画の達成	[2]
	(b) 経費削減のための取組み	[2]	(d) 利用料等の徴収・管理	[2]

9. 評価

S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D (水準未滿) : 協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1) 事業の運営	S	全体的に適切な事業運営がなされている。人員基準以上の職員及び専門職を配置することで、質の高いサービス提供を行っている。
(2) 施設の維持管理	A	各種保守点検及び清掃・衛生管理については、全体的に適切に対応されている。施設の老朽化に伴う修繕等に対応についても、迅速に行われている。
(3) 利用者の満足度	S	利用者の満足度調査の結果より、施設職員の接遇やサービス内容に対する満足度は高い評価を得ている。
(4) 歳入歳出	A	予算については概ね適切に執行されている。料金収入・管理経費ともに増額のため、引き続き経費削減に努め、収入確保に取り組んでいく必要がある。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

良好 施設の管理運営については、全体的に良好である。引続きサービスの向上に努め、料金収入の増及び運営経費の削減を図る必要がある。

11. 平成23年度評価結果に対する今後の対応

満足度調査における利用者の満足度は高く、サービス向上のために施設内外での研修受講結果を施設に持ち帰り、積極的な職員教育を実施している。今後も利用者から高い評価を得られる施設運営を継続していくとともに、効率的な運営を行っていく必要がある。